

平成28年度 学校関係者評価報告書



平成28年10月

学校法人シモゾノ学園

大宮国際動物専門学校

教 育 方 針

【専門性の追求】

教育を取り巻く環境をしっかりと理解し、
動物業界で求められる知識・技術を追求し、
戦力となる人材(財)を育成します。

【道徳性・人間性の育成】

感謝の心を失わず、
挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、
品格の備わった人材(財)を育成します。

【動物福祉の実践】

動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、
自然・環境・動物との共存共生を実践し、
広く社会に貢献できる人材(財)を育成します。

学校法人シモゾノ学園 学校関係者評価報告について

今年度の学校関係者評価委員会の開催により、学校に関連する業界・企業の方々から動物業界を主な活躍の場とする職業社会人として必要とされる能力に加え、期待される能力・人間性・社会人力等について、ご意見・ご指導を賜りました。また、学校運営に関しましても的確かつ、さらなる学校運営の質の向上が図れるであろうご意見も頂戴いたしました。教育活動や学校運営の質をさらに向上し続ける上で、大変に貴重なご提案や意見交換ができる本取り組みの重要性を改めて認識させていただくと共に、本取り組みにお力添えを頂きました全ての方々に心より感謝申し上げる次第でございます。頂戴したご意見・ご提案等を効率的に活用させて頂き、改善を重ねて参ります。今後も目的と目標と手段の最適化を常に考え、学生一人一人がそれぞれの人生を心豊かに楽しめるよう、専門的知識力・技術力に加え、生きていける力を養い高める学校であるよう、教職員・学校飼育動物一同、心を合わせて力を合わせ、一心に努めて参りますので、今後ともより一層のご指導・ご支援を賜りますれば幸いです。

平成28年10月

学校法人シモゾノ学園
理事長 下菌 恵子

1. 学校関係者評価委員

	氏名	所属・関係	役職	備考
1	横田 淳子	一般社団法人日本動物看護職協会	会長	委員長
2	田中 健司	株式会社西武ペットケア	代表取締役社長	委員
3	宇佐美 孝	大宮国際動物専門学校 卒業生		委員
4	篠田 こずえ	大宮国際動物専門学校 保護者		委員

2. 学校関係者評価委員会議事録

会議名	第1回 学校関係者評価委員会
開催日時	平成28年4月28日(木) 17:00~18:00
場所	国際動物専門学校 本館4階
参加者	①学校関係者評価委員 横田 淳子 宇佐美 孝 篠田 こずえ ②自己点検評価委員 下菌 恵子 下菌 智一 大坪 利久 山下 真理子 今西 孝一 吉川 鉄平 ③事務局 岸田 昌也 有倉 豊

議 題

- 1 理事長挨拶(下藺恵子理事長)
 - 2 委員紹介(事務局)
 - 3 学校関係者評価委員会 委員長選出
 - 4 概要説明(下藺智一副理事長)
学校関係者評価の概要説明
配布資料に基づき説明
 - 5 意見交換
 - 6 次回の会議日程について(下藺智一副理事長)
第2回学校関係者評価委員会
平成28年8月30日(火) 17:00より開催
 - 7 閉式の辞(下藺智一副理事長)
 - 8 施設見学
新任委員による施設見学
- 閉会

会 議 名	第2回 学校関係者評価委員会
開催日時	平成28年8月30日(火) 17:00~18:00
場 所	国際動物専門学校 本館4階
参 加 者	<p>①学校関係者評価委員 田中 健司 宇佐美 孝 篠田 こずえ</p> <p>②自己点検評価委員 下藪 恵子 下藪 智一 大坪 利久 山下 真理子 今西 孝一 吉川 鉄平</p> <p>③事務局 岸田 昌也 有倉 豊</p>
議 題	<p>1 開会の辞(下藪恵子理事長)</p> <p>2 委員紹介(事務局)</p> <p>3 平成28年度自己点検・評価結果報告 自己点検評価(内部監査)報告書について説明 各評価点検項目について個々に担当部署より説明</p> <p>4 平成28年度学校関係者評価作成について(事務局) 学校関係者評価の作成・評価の方法について説明</p> <p>5 意見交換</p>

議 題	<p>6 次回の会議日程について(事務局) 第3回学校関係者評価委員会 平成28年10月4日(火)開催</p> <p>7 閉式の辞(下菌智一副理事長)</p> <p>閉会</p>
-----	---

会 議 名	第3回 学校関係者評価委員会
開催日時	平成28年10月4日(火) 17:00~18:00
場 所	大宮国際動物専門学校 1号館3階
参 加 者	<p>①学校関係者評価委員 横田 淳子 田中 健司 宇佐美 孝</p> <p>②自己点検評価委員 下菌 恵子 下菌 智一 大坪 利久 山下 真理子 今西 孝一 吉川 鉄平</p> <p>③事務局 岸田 昌也 有倉 豊</p>

議 題

- 1 開会の辞(下藺恵子理事長)
 - 2 学校関係者評価報告
事務局より評価報告書の内容に関する意見及び改善提案等について報告
 - 3 意見交換
各委員より各評価項目に関する追記や質問事項等について意見交換を実施
 - 4 閉会の辞(下藺智一副理事長)
 - 5 校舎見学
- 閉会

3. 学校関係者評価の観点について

学校関係者評価は下記の観点に基づき評価しております。

- ① 学校法人シモヅノ学園 国際動物専門学校 自己点検・自己評価報告書に基づき教職員の意見聴取及び学校施設等の視察を行う。
- ② 学校が設定した評価項目の達成及び取組み状況を点検する。
- ③ 動物医療等の職業教育・専門技術教育を展開する高等教育機関である専門学校としての特色を踏まえ、自己点検・自己評価が行われていることを確認する。
- ④ 自己点検・自己評価において認識された課題や今後の改善方策を確認する。
- ⑤ 総評は、基準ごとの評価結果を踏まえた内容とし、「適切・ほぼ適切・やや不適切・不適切」を明らかにする。

4. 評価項目の達成及び取組み状況

自己点検評価結果

1 教育理念・目標		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④ 3 2 1	
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1	
1	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1	保護者への周知については学生経由で案内をしているだけに留まっている点が課題である。2016年度より「保護者会」の開催による周知機会を追加し、周知の向上を高める取り組みの準備を行っている。

学校関係者評価

理念については、教職員・学生・保護者が共有すべき内容であり、学内への掲出やビジョンブックの作成なども有効である。
 また、学生に対しては「理念(学園の思い・価値判断基準)」、「ビジョン(理念をもとにした、学園を含む社会全体の理想とする状態・将来像)」、「ミッション(理念・ビジョンをもとにした、学園の役割)」などの共有のみならず、そもそも「理念・ビジョン・ミッションとは何か？」などの価値判断の考え方の教育を行うことで、就職先の選定時などに企業・団体の理念等を主体的に調べ、判断する力の醸成につながると考える。
 保護者に対しても入学前の学校説明会で周知することで学校選びの参考になるのではと考える。保護者会の開催は理念等の周知に加え、教育活動状況の共有や各情報共有の機会になるため、継続した保護者会の開催を続け、開催に当たっては保護者が参加しやすい日時を考慮することを望む。

自己点検評価結果

2 学校運営		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
2	1	④ 3 2 1	
2	2	4 ③ 2 1	現状の学校運営に即した規定に再整備する必要がある。
2	3	④ 3 2 1	
2	4	④ 3 2 1	
2	5	④ 3 2 1	
2	6	④ 3 2 1	
2	7	4 ③ 2 1	回数を増やすだけでなく、共有すべき内容についても精査する必要がある。
2	8	4 3 ② 1	現状ではコンプライアンスに対する体制が整っているとはいえない。
2	9	④ 3 2 1	
2	10	④ 3 2 1	
2	11	④ 3 2 1	

2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	3	②	1	クレームに対して組織として対処できていない。
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④	3	2	1	

学校関係者評価総括

意思決定に関わる決裁基準については組織分掌などをもとにして適切なものを策定することと合わせて、諸規定の定期的な見直しを行う。また、整備しただけで終わらないように全教職員が共有し活用できるよう徹底させることが大切である。

コンプライアンス体制やクレーム対応については、社会状況を見ても今後より必要性が高まることが考えられるので、ぜひ整備を進めて頂きたい。

クレーム対応時には、レポーティングラインの整理・報告書の内容見直しにより、時系列での現象の整理、原因分析、再発防止などを一元的に管理が出来るような体制の確立が有効であると考え。クレームの性質・ケースによって対応できる体制づくりを行うことも重要である。

学生に対してもコンプライアンスマインド醸成の為の授業等を実施することで、卒業後スムーズに業務に取り組めると考える。

より良い学校運営・教育活動には、教職員・非常勤講師・学園運営者等すべてが学園の育成人財像を踏まえて一丸となる必要がある。情報共有に留まらず、講師会などの有益な活用をお願いしたい。

自己点検評価結果

3 教育活動			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1				課題・問題点・改善点	
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1		
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1		

3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	
3	4	動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1	
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	④	3	2	1	
3	8	動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	3	②	1	周知体制の整備はできているので、2016年度から事前に学生に提示する。
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④	3	2	1	
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	③	2	1	アンケート項目に設備や教材に関する項目を追記する。
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1	全講師の授業評価できていない。

3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	④	3	2	1	
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	③	2	1	環境及び教材の検証ができていない。環境・教材をリスト化し検証する。
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	「要件」が不明確である。なにをもってコンピテンシーとするかを学園として規定する必要がある。
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	④	3	2	1	
3	19	動物関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1	教育課程を反映した研修を実施している。
3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	4	③	2	1	研修の実施が不足している。また職員のコンピテンシーが不明確なことも課題である。
3	21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	

学校関係者評価総括

シラバスの学生への周知については、事前に学習目的・内容等の把握ができ、学習効果の向上も見込まれる。学生への提示方法を検討し、有効な活用をお願いしたい。例えば、ネット上からいつでも学生が自身の学習進行度合いがわかるようにするなどの取り組みは効果的と考える。

学生へのアンケートだけで授業の評価を得られるとは考え辛い。学生の視点からの評価より第三者、例えばその授業に関わりのある業種に就業している卒業生など、社会に出る前の準備として適切かどうかの評価をしてもらえると良いのではないかと。また、授業の評価だけではなく教材や設備に対しての項目がないようなので加えて実施し、環境整備の改善に努めてもらいたい。

教職員の知識・技術習得や能力開発については、学内で実施するもの他に、外部のセミナー等受講時の受講費用補助や、外部企業の研修システムの導入なども検討しても良いのではないかと。トリマーについてはトリミングのコンクールに出場すれば本人の自信にもつながり、実力ある人が今以上に努力を続けている姿勢を学生に見せることができる。動物看護師については学生を巻き込んで学会のポスターセッションなどに取り組んでみてはどうか。ドッグサロン、動物病院、ブリーダー等、卒業後に実務経験を積んだ教員を増やすことが、即戦力のある人財を育てることにつながる。

自己点検評価結果

4 学習成果		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
4	1	④ 3 2 1	
4	2	4 3 ② 1	情報の網羅までできていない。卒業生から情報を得る術があまりない。卒業生から学校にアプローチする仕掛けが必要。
4	3	④ 3 2 1	
4	4	4 3 ② 1	根拠が不足している。年間スケジュールに評価スケジュールを反映。
4	5	④ 3 2 1	
4	6	4 ③ 2 1	ニーズは企業として捉える。調査書の数が少ない。
4	7	④ 3 2 1	
4	8	④ 3 2 1	

学校関係者評価総括

卒業生の現状を把握するには、卒業生やインターン先への訪問、聞き取り調査やSNSツール等を活用し、定期的な情報発信やオフ会などと組み合わせることでより強固なものになると考える。また、社会で活躍する卒業生の姿は学生へのよい刺激になるであろうから、卒業生の状況が分かったり、直接話し合える機会など様々な取り組みに発展できることも期待する。

非常勤講師は各分野のスペシャリストが多いと思うが、その方たちの協力を得て、動物への応急処置やエマージェンシー対応など卒業後に学んだことの復習や新しい知識や技術を学ぶ機会を設けてはどうか。興味のある分野のみに参加が集中してしまいがちだが、あらゆる分野からスケジュールをセットとして組み、終了時には何か特典があると集まるのではないか。卒業生にとってメリット(特典)があれば、学校とつながりを保ち続けられる。例えば図書室の無料使用や土、日の美容実習室を格安で利用できるなど。貸し出しに関しては問題あるかもしれないが、魅力を感じる卒業生は多いはずである。図書室が卒業生に解放されカフェになっていれば勉強する際に使用すると思う。

卒業生の活躍を把握することと併せて、離職した卒業生の退職理由などを分析することが動物業界の離職率を下げることににつながるのではないか。

自己点検評価結果

5 学生支援		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 就職しない学生への支援やケアは今後の課題ともいえる。
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1 保護者会の開催がまだできていない。
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
5	5	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1 卒後教育セミナーの実施ができていない。

5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④	3	2	1	
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	
5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1	
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	サークルに関する案内を明文化することを検討する。
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	

学校関係者評価総括

トリーマーの人材・人財不足傾向が顕在化しつつある中で、企業側としては学校経由の人材採用に力を入れていく傾向が強まりつつある。動物園や水族館は4月から就業できるとは限らないので、就職できずに卒業する学生も少なくないはずである。卒業生とのパイプを学校が維持し続けることで企業とのタッチポイントも増え、真に活気のある学生・卒業生の支援体制が出来るのではないかと感じる。在校生の就職支援については整ってきてはいるが、校舎が離れている学科に対しては不十分であると感じる。学科間で差が生じないような体制の構築が必要である。

課外活動(サークル等)は一体感が生まれて、クラスの意欲向上となった学校などもあるようなので、近隣の大学等のサークル情報などを提供し、学生の交流範囲を広げ多様性を学ぶ良い機会になるのではないかと感じる。学生のニーズを鑑みながら検討すべきである。

自己点検評価結果

6 教育環境		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	④ 3 2 1
6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4 ③ 2 1 あらゆる非常時、災害時に対応できるような内容により整備を行う必要がある。
6	4	防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1 実際に災害が起きた場合に対応できるような体制を整備する必要がある。
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1

学校関係者評価総括

防災に関しては危機管理マニュアルの作成に加え、事業継続プラン(BCP)も合わせて作成し備えておくことで、発災後の初期対応のみならず事業活動の再開に向けてよりスムーズに対応が出来るよう検討が必要。防災、安全管理については、全教職員、非常勤講師ともに周知されていることが望ましい。また、災害時に教職員が誘導できるとは限らないので、学生の中にも指示を出す係・リーダー役を各クラスで数名決めておき、自分の身の安全は自分で確保する訓練も必要。動物関連の学校ということで動物の避難、安全確保についても定めて、教職員のみならず学生に周知することで、将来の就職先での対応が向上するのではないか。

自己点検評価結果

7 学生の受入れ募集		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	④ 3 2 1	
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④ 3 2 1	
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	④ 3 2 1	
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④ 3 2 1	
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	入学前(学校案内書や説明会)と入学後に提供する情報を整理しマニュアル化する
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	④ 3 2 1	
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	④ 3 2 1	
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	消費増税への対応、学納金以外の学生預り金と実収支のバランス

学校関係者評価総括

学納金の額については他の専門学校等と比べ、価値のある内容となっているのであれば値上げすることも良い判断である。就学期間内にかかる費用については、保護者会などでも説明があっても良いのではないか。

自己点検評価結果

8 教育の内部質保証システム			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1	組織としての最終的な完備とまでは至っていない
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	④ 3 2 1	
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1	
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ③ 2 1	2016年度にさらに4名の受講予定あり。

8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	④	3	2	1	
8	7	自己点検・評価結果を公開しているか	④	3	2	1	

学校関係者評価総括

個人情報保護や内部監査などの内部統制の強化は、教育機関として極めて重要な要素の一つであり、これまで同様にしっかりと取り組む必要がある。特に個人情報保護についてはハッキングやフィッシングメールなどインターネットを使った外部からの攻撃による流出にも備えることが重要である。現状としては、自己点検・評価、内部監査、学校関係者評価、第三者評価を行うことで問題点を洗い出し、改善に努める体制ができている。今後は自己点検・評価や内部監査を行う人材の育成も必要である。

自己点検評価結果

9 財務		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1 情報公開に関する規定を再整備する
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

学校関係者評価総括

財務基盤は安定しており、それに沿った財務諸表の開示が適正に行われており特に問題はない。入学を検討する保護者からすれば、学校の財務基盤の健全性は極めて重要であるため、より分かりやすい形での公開がされると良い。

自己点検評価結果

10 社会貢献・地域貢献			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1	
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1	

学校関係者評価総括

地域の動物福祉向上に繋がる講座や活動の検討は必要である。ペット業界の抱える問題である殺処分の減少に向けて、学生の頃から実態を知り、問題解決に向けたアクションでもあるボランティアトリミング活動などを、行政機関の動物愛護センターや民間のNPO団体などと協調し取り組むことも効果的である。どうぶつ祭で犬の飼い主に自宅で出来る犬のおやつ作り方など楽しめる催しはとても良い。しつけ教室等を開催することで地域貢献は勿論のこと、学生の勉強にもなる。しかし学生が行うことにより生じるトラブルに対しては十分な配慮が必要である。

5. 学校関係者評価委員会実施風景

